

介護職員等処遇改善加算（職場環境要件に関する具体的な取り組み内容について）

入職促進に向けた取組	
職場環境要件項目	当施設としての取り組み
法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化。	毎月の会議や研修で法人理念及びケアへの情報を共有している。
他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築。	年齢を問わず、未経験者の採用も行っている。

資質の向上やキャリアアップに向けた支援	
職場環境要件項目	当施設としての取り組み
働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得への補助、勤務シフトの考慮等を行うことにより、研修や講習を受けやすい環境を整えている。
上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	適宜、担当者による面談を行い相談している。

両立支援・多様な働き方の推進	
職場環境要件項目	当施設としての取り組み
職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの作成などしている。
有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている。	半日有給休暇の取得可能。また、上席から定期的に有給休暇取得の声掛けを行っている。

腰痛を含む心身の健康管理	
職場環境要件項目	当施設としての取り組み
介護職員の身体負担軽減のための介護技術の取得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	介護技術の取得支援や腰痛対策の研修を実施している。
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	各業務のマニュアルを整備し、直ぐに報告が上がる体制を取っている。

生産性向上のための取組	
職場環境要件項目	当施設としての取り組み
現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している。	会議等で話し合うことで改善に努めている。
5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている。	担当を決めて毎日行っている。
介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	パソコン、介護ソフト、タブレットを使用している。

やりがい・働きがいの醸成	
職場環境要件項目	当施設としての取り組み
ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	ミーティングによる情報共有など毎月開催している。
利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	法人が掲げる理念や倫理規定を共通認識として日々のケアに当たっている。